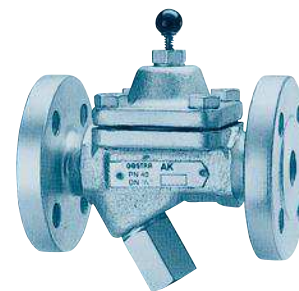


プラントの始動時のドレンを自動排出！  
システムの運転停止時の残留蒸気&ドレンを自動排出！



## ■用途

- 立上りに時間のかかる蒸気使用装置
- 残留蒸気の凝縮によって配管ラインが真空になる場合
- 残留ドレンによって凍結を防止したい場合

## ■作動

AK45型ドレン抜き弁は、プラントの始動時に、蒸気システム内の圧力がAK45型のあらかじめ調節された蒸気圧（閉弁圧）に到達するまで、システム内から蒸気及びドレンを自動的に排出し続けます。システムの蒸気圧が閉弁圧より高い圧力になっている場合は、AK45型は閉弁状態を保ちます。そして、蒸気圧が下がってくると閉弁圧≒開弁圧でAK45型は開きます。すなわち、このドレン抜き弁は圧力によってのみ制御され、温度には支配されません。そして作動状態は全開か全閉のどちらかになります。また、手動のパージノブが付いていますので、弁座付近の付着物を取り除く場合は、システム加圧時にAK45型を強制的に手動で開弁し、パージすることができます。

## ■使用例

図1に示された蒸気ラインの始動は良い例です。プラントの運転開始においては、蒸気は既に凝縮しているが蒸気ライン内の圧力は最初はゼロです。ドレンを押し上げるための差圧がまだないので生成されたドレンは立ち上がっているドレン回収管へ排出できません。AK45型ドレン抜き弁は、圧力がない限り開いているので自動的なドレンの排出を確実にしています。蒸気ライン内の圧力が約80kPaに達するまでドレンはAK45型によって自由に排出されます。蒸気システムの運転が停止されたならば、蒸気ライン内の圧力はゆっくり低下します。圧力が約80kPaに下がったとき、AK45型が開いて残留している蒸気及びドレンを排出し、蒸気ライン内に真空が生じるのを防ぎます。屋外の配管ラインではそれに加えて残留ドレンの凍結を防ぎます。

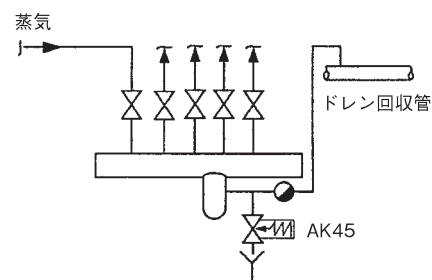


図1

## ■仕様及び材料

型式	最高使用		弁閉止差圧力 (kPa)	主要部材料	
	圧力(MPa)	温度(°C)		弁箱	要部
AK45型	2.2	385	80	炭素鋼鍛鋼	ステンレス鋼

## ■構造及び寸法

(mm, kg)

フランジ形				ねじ込み形			
呼び径	L	フランジ規格	質量	呼び径	L	Rp	質量
15	150	JIS 20K	4.2	15	95	1/2	2.2
20	150		4.7	20	95	3/4	2.1
25	160		5.3	25	95	1	2.0

## ■排出量

